

ソフィール NEWS

全国200カ所に導入！
環境型トイレ浄化槽！

「第8期ソフィール協会研修会」を開催しました

平成30年12月7日（金）に第8期ソフィール協会研修会を開催し、全国各地より会員他15社（24名）の皆様に出席を頂きました。（岐阜県養老郡養老町）
今回は岐阜県営養老公園のソフィール納入場所の現地見学を行いました。公園内にはテニスコートと芝生広場の公衆トイレ2箇所のソフィールが設置されています。
養老公園は明治13年の開園で、昭和31年に岐阜県営の都市公園となり、四季を通じて楽しめる、自然と芸術・スポーツ施設を備えた県民の憩いの公園です。
ソフィール見学後は、日本の滝百選でもある『養老の滝』へ会員の皆様と訪れました。紅葉の見頃は少し過ぎていましたが、養老の滝の景観は素晴らしいものでした。



News

「びわ湖環境ビジネスメッセ2018」に出展しました

特集

最新の納入事例

宮城県名取市
北釜地区防災公園

滋賀県近江八幡市
アメリオ第1号機



ホームページにも掲載しています

最新の施工事例を随時更新しています！
用途別の納入事例もご紹介していますので、是非ご覧ください。

<https://www.alcoinc.co.jp/mizu/sofil/>

ソフィール 実績

「ソフィール実績」で検索！



◆ お問い合わせ先 ◆

ソフィール協会

三重県津市藤方2254番地1(アルコ(株)内)
TEL:059-213-8811 FAX:059-213-8880
URL:<http://sofil-kai.net/>
E-Mail:info@alcoinc.co.jp

Topics

「第8期ソフィール協会研修会」を開催しました

環境技術
実証事業
ETV 環境省
本技術は第三者による性能の実証結果を公開しています。
<http://www.env.go.jp/policy/etv/>
自然地域トイレし尿処理技術分野
平成28年度 実証試験 (No.030-1602)
平成 年度 経年実証試験 (No.030-)

宮城県名取市「北釜地区防災公園」

謹賀新年

謹んで新年のご祝詞を申し上げます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。お陰様でソフィールの実績数が、昨年200件を超えました。毎年、安定して実績数が増加しており、高い性能と品質、顧客満足に向けた活動を高く評価していただき、深く感謝致します。

昨年は、北海道での地震、台風による風水害など災害の多い一年で、防災に関するニーズも高まってきました。トイレ排水の浄化処理した処理水を便器の洗浄水利用する「ソフィール」は、防災公園での採用も増えてきています。また、昨年から販売開始した「アメリオ」も防災時の用水として、雨水活用できるシステムとして注目されています。

今年「己亥の年」の年で、次のステップに向けた準備期間の年と言われています。ソフィール協会の皆様とともに新しい技術やノウハウの蓄積はもちろんのこと時流にあわせた新しい開発へ挑戦し、次のステップに向けて準備していきます。

今年もエコ・環境保全に貢献できる活動を進め、顧客との間に感情的な繋がりを作り、猪突猛進でブランド化を進めていきますので、本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお祈り申し上げます。皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

平成31年 元旦

ソフィール協会 会長 東 和生

News

「びわ湖環境ビジネスメッセ2018」に出展しました

環境ビジネスに取り組む企業・団体が環境製品、技術、サービス、ビジネスモデル一堂に展示した環境産業総合見本市で、昨年に引き続き今回も出展をさせていただきました。

多くの皆様に弊ブースへお立ち寄りいただき、誠にありがとうございました。

展示会データ

日時：平成30年10月17日（水）～19日（金）

場所：長浜バイオ大学ドーム（滋賀県）

出展数：272企業・団体

来場者：27,250人（3日間）

出展分野：水環境ビジネス

出展内容：環境に優しい循環型浄化槽（ソフィール）

雨水貯水・活用システム（アメリオ）



“ソフィール”とは？

ソフィールは環境に優しい汚水処理システム『土壤微生物膜高度処理浄化槽』です。わずかな消費電力で高度な汚水処理ができ、維持管理が容易でランニングコストが安く、利用者の変動が大きい施設でも安定した処理を

環境技術
実証事業
ETV 環境省
本技術は第三者による性能の実証結果を公開しています。
<http://www.env.go.jp/policy/etv/>
自然地域トイレし尿処理技術分野
平成28年度 実証試験 (No.030-1602)
平成 年度 実証試験(No.030-)

行えます。処理水を循環利用することにより防災対応型トイレとしても利用可能で、放流先の無い場所や環境に配慮したい場所にも最適な浄化槽です。

環境省 平成28年度環境技術実証事業(ETV事業)
自然地域トイレし尿処理技術分野の実証試験を実施しました



特集 最新の納入事例

北釜地区防災公園

宮城県名取市

宮城県名取市で施工した「北釜防災公園」のトイレが供用開始されました。防災公園であることから、断水時でも水洗トイレとして利用できるソフィールの循環型が採用されました。



- 1 装置、トイレ棟
- 2 消毒・貯留槽、一次処理槽
- 3 分水マス、土壤浸潤槽
- 4 公園風景



公園内には避難用の築山があり、頂上からは隣接する仙台空港へ離発着する飛行機が間近に見ることができ迫力満点です。近くに行く機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。

場所：宮城県名取市
施工年月：2018年8月
人槽：80人槽
汚水量：4.8m³/日
発注者：宮城県 名取市役所
仕様：処理水循環

アメリオ第1号機

滋賀県近江八幡市の民間工場

環境に配慮した取り組みの一つとして雨水活用を検討されていた工場で、アメリオを採用していただきました。工場ではクーリングタワーの補給水として、5~8m³/日と大量の水道水を使用しており、雨水の補給水活動を計画されました。



工場の屋根(約1,000m²)に降った雨水を既設水槽(コンクリート製、約50m³)に貯留し、アメリオ浄化装置で浄化し、クーリングタワー補給水として利用されています。

- 1 雨水貯留槽とクーリングタワー
- 2 雨水配管
- 3 浄化装置フィルター
- 4 給水ポンプと浄化装置

場所：滋賀県近江八幡市
稼働開始日：2018年10月1日
目的：クーリングタワー用補給水として雨水活用

雨水貯水・活用システム“アメリオ”とは？

アメリオはタンク内に雨水を貯水し、微生物で水質を浄化・維持するシステムです。整雨レベルIV（洗面・シャワー・風呂利用できるレベル※国土交通省雨水の利用推進に関するガイドライン）を目標水質とし、綺麗な雨水はトイレ洗浄水や植物の散水、洗車水、クーリングタワー補給水、災害用非常用水など、さまざまな用途で有効活用できます！

【浄化技術】
立命館大学・ワコール・(株)メタルファンテックの特許技術
(アルコ(株)が実施許諾契約済)

